

2015年農林業センサス調査結果の概要

1 農林業経営体

(1) 農林業経営体数 ～ 農林業家営対数は383経営体 ～

網走市における、平成27年2月1日現在の農林業経営体数は383経営体となりました。

このうち、農業経営体数は374経営体で、林業経営体数は49となりました。

これを、前回(2010年)との比較でみると、農林業経営体で5.4%及び農業経営体で1.8%それぞれ減少し、林業経営体では19.5%増加しました。

図1 農林業経営体数

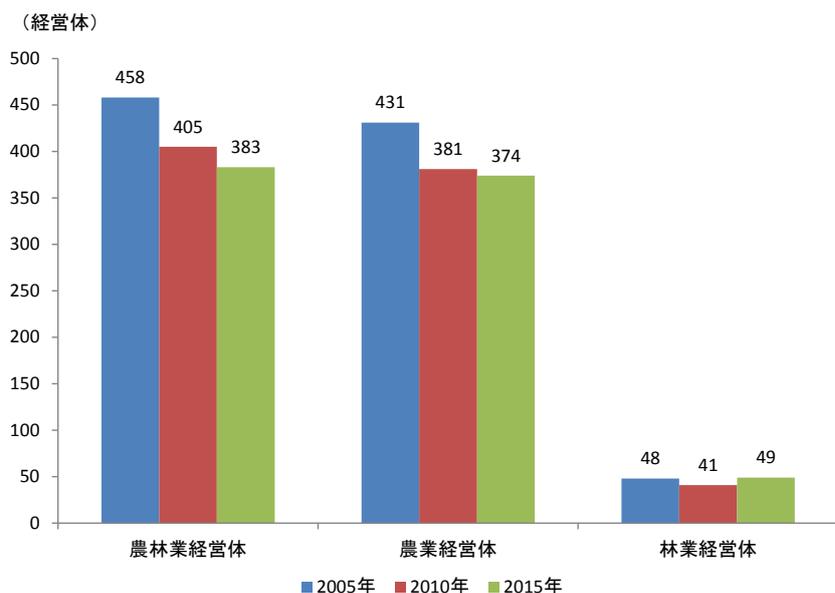


表1 農林業経営体数

単位：経営体

区 分	農林業経営体		
	農林業経営体	農業経営体	林業経営体
2005年	458	431	48
2010年	405	381	41
2015年	383	374	49
増減率			
2005年/2010年	△11.6%	△11.6%	△14.6%
2010年/2015年	△5.4%	△1.8%	19.5%

※農業と林業の両方を行っている経営体は、それぞれに計上しているため、農業経営体数と林業経営体数の合計と農林業経営体数は一致しません。

2 農業経営体

(1) 農業経営体数 ～ 法人化している経営体は7.8% ～

農業経営体のうち、法人化している経営体数は29経営体で、前回との比較でみると20.8%増加しましたが、法人化していない経営体数は344経営体で、3.6%減少しました。

表2 農業経営体数

単位：経営体

区分	農業経営体	法人化している					地方公共 団体・財産区	法人化して いない	家族経営体
		農事組合 法人	会社	各種団体	その他の 法人				
2005年	431	29	12	13	3	1	0	402	398
2010年	381	24	13	10	1	0	0	357	357
2015年	374	29	14	13	1	1	1	344	344
構成比									
2005年	100.0%	6.7%	2.8%	3.0%	0.7%	0.2%	0.0%	93.3%	92.3%
2010年	100.0%	6.3%	3.4%	2.6%	0.3%	0.0%	0.0%	93.7%	93.7%
2015年	100.0%	7.8%	3.7%	3.5%	0.3%	0.3%	0.3%	92.0%	92.0%
増減率									
2005年/2010年	△11.6%	△17.2%	8.3%	△23.1%	△66.7%	△100.0%	-	△11.2%	△10.3%
2010年/2015年	△1.8%	20.8%	7.7%	30.0%	0.0%	-	-	△3.6%	△3.6%

(2) 経営耕地面積規模別経営体数 ～ 中規模の農業経営体が減少 ～

農業経営体を経営耕地面積規模別に前回との比較でみると、10～50haの層で減少し、5ha未満及び50ha以上の層で増加しました。

図2 経営耕地面積規模別農業経営体数の増減率

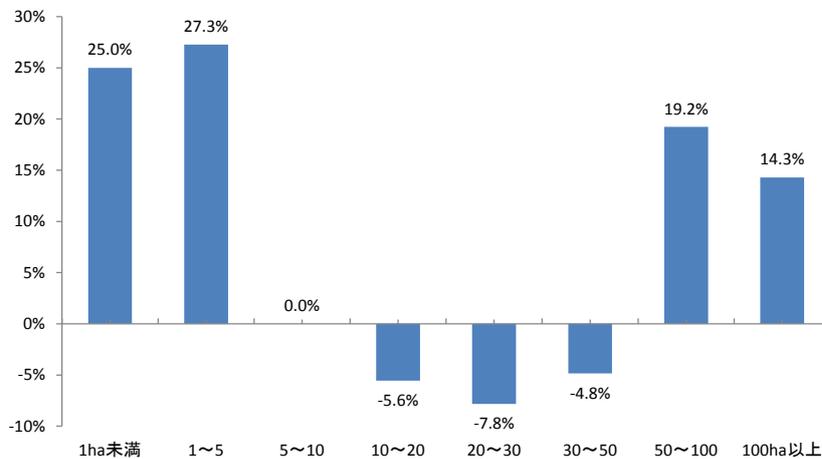


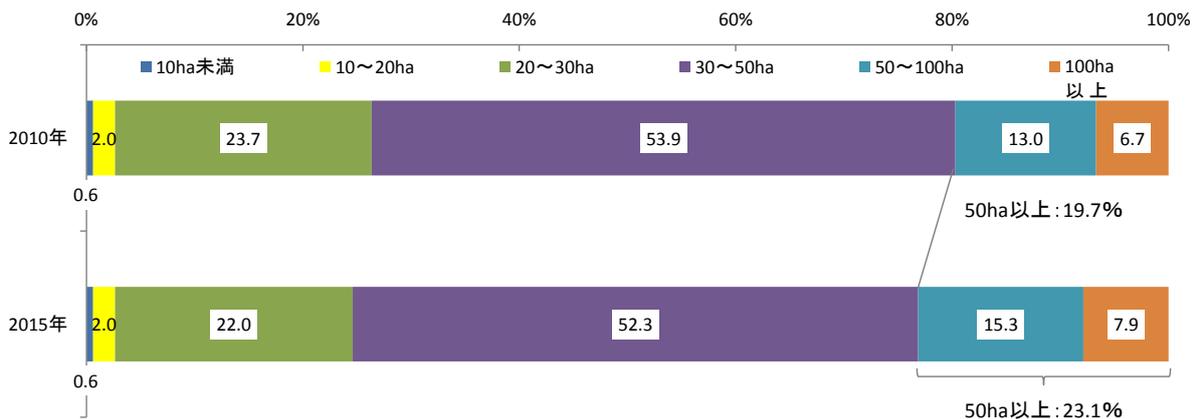
表3 経営耕地面積規模別農業経営体数

区分	単位：経営体、ha								1経営体当たりの平均経営耕地面積
	1ha未満	1～5	5～10	10～20	20～30	30～50	50～100	100ha以上	
2005年	20	19	9	33	151	174	19	6	
2010年	12	11	6	18	115	186	26	7	33.2
2015年	15	14	6	17	106	177	31	8	33.8
構成比									
2005年	4.6%	4.4%	2.1%	7.7%	35.0%	40.4%	4.4%	1.4%	
2010年	3.1%	2.9%	1.6%	4.7%	30.2%	48.8%	6.8%	1.8%	
2015年	4.0%	3.7%	1.6%	4.5%	28.3%	47.3%	8.3%	2.1%	
増減率									
2005年/2010年	△40.0%	△42.1%	△33.3%	△45.5%	△23.8%	6.9%	36.8%	16.7%	
2010年/2015年	25.0%	27.3%	0.0%	△5.6%	△7.8%	△4.8%	19.2%	14.3%	

農業経営体の経営耕地面積規模別に経営耕地面積の集積面積割合をみると、30～50haの農業経営体が半数以上を占めました。

また、前回との比較でみると、20～50haの農業経営体の面積が減少し、50ha以上の農業経営体の面積が増加しました。

図3 経営耕地面積規模別の経営耕地面積集積割合



(3) 農産物販売金額規模別経営体数 ～ 100万円以上3,000万円未満の農業経営体が減少 ～ 農業経営体を農産物販売金額規模別にみると、1,000～3,000万円層が154経営体（構成比41.2%）と最も多く、次いで3,000～5,000万円層の135経営体（同36.1%）、5,000万～1億円の31経営体（同8.3%）の順となりました。

これを前回との比較でみると、100～3,000万円未満の層で減少しましたが、100万円未満及び3,000万円以上の層は増加しました。

図4 農産物販売金額規模別農業経営体数の増減率

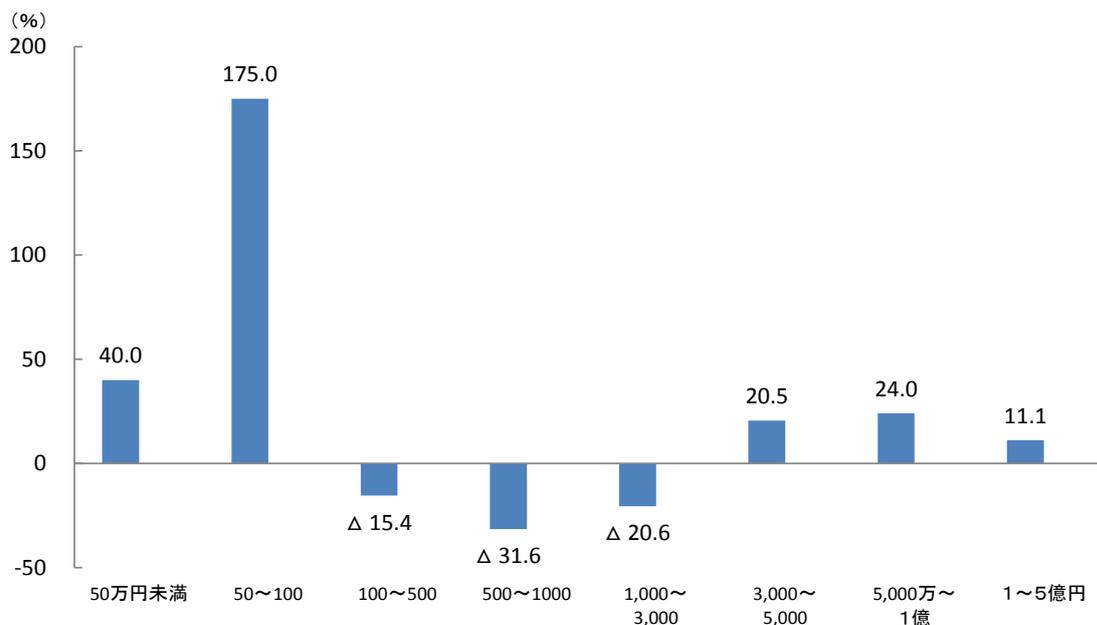
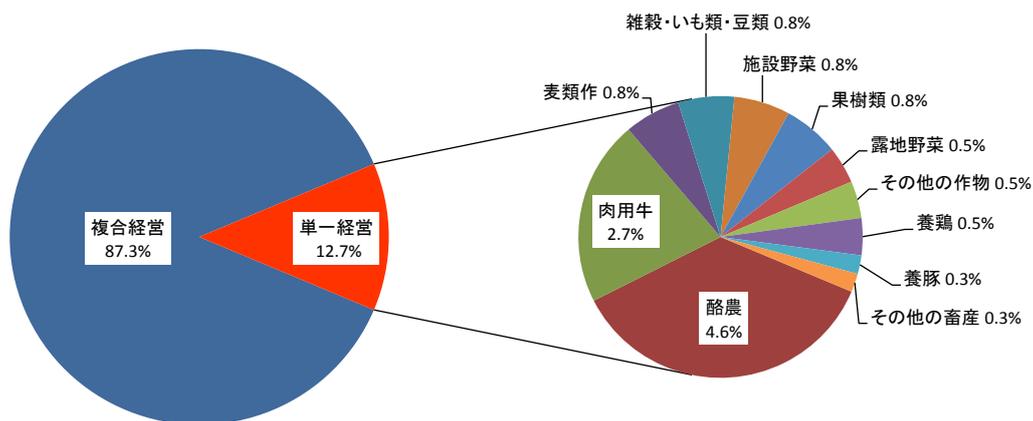


表4 農産物販売金額規模別農業経営体数

		単位：経営体								
		50万円未満	50~100	100~500	500~1000	1,000~3,000	3,000~5,000	5,000万~1億	1~5	5億円以上
2010年		5	4	13	19	194	112	25	9	—
2015年		7	11	11	13	154	135	31	10	2
構成比										
2010年		1.3%	1.0%	3.4%	5.0%	50.9%	29.4%	6.6%	2.4%	—
2015年		1.9%	2.9%	2.9%	3.5%	41.2%	36.1%	8.3%	2.7%	0.5%
増減率										
2010年/2015年		40.0%	175.0%	Δ 15.4%	Δ 31.6%	Δ 20.6%	20.5%	24.0%	11.1%	—

(4) 農業経営組織別経営体数 ～ 農業経営体の8割以上が複合経営 ～
 農産物を販売した農業経営体を農業経営組織別にみると、複合経営（主位部門が80%未満の経営体）は87.3%となり、前回に比べ2.3ポイント増加しました。

図5 農業経営組織別農業経営体数の構成割合（2015年）



(5) 経営耕地面積 ～ 経営耕地面積は前回に比べ微増 ～
 農業経営体の経営耕地面積は 12,651ha で、前回に比べ 0.1%増加しました。

表 5 耕地種類別経営耕地面積

単位：ha				
	計	田	畑	樹園地
2010年	12,638	—	12,634	4
2015年	12,651	—	12,640	11
構成比				
2010年	100.00%	—	99.97%	0.03%
2015年	100.00%	—	99.91%	0.09%
増減率				
2010年/2015年	0.10%	—	0.05%	175.00%

3 販売農家

(1) 主副業別農家数 ～ 農家の約9割が主業農家 ～

販売農家を主副業別にみると、主業農家は 315 戸（構成割合 90.3%）となり、前回に比べ 25 戸減少し、準主業農家は 11 戸（同 3.2%）で前回に比べ 8 戸増加、副業的農家は 23 戸（同 6.6%）で前回に比べ 9 戸増加しました。

図 6 主副業別農家数の構成



(2) 専業別農家数 ～ 農家の8割以上が専業農家 ～

販売農家を専業別にみると、専業農家は288戸（構成割合82.5%）となり、前回に比べ12戸減少しました。

また、兼業農家は、第1種兼業農家が46戸（同13.2%）で前回に比べ6戸の減少、第2種兼業農家が15戸（同4.3%）で前回に比べ10戸増加しました。

図7 専業別農家数の構成

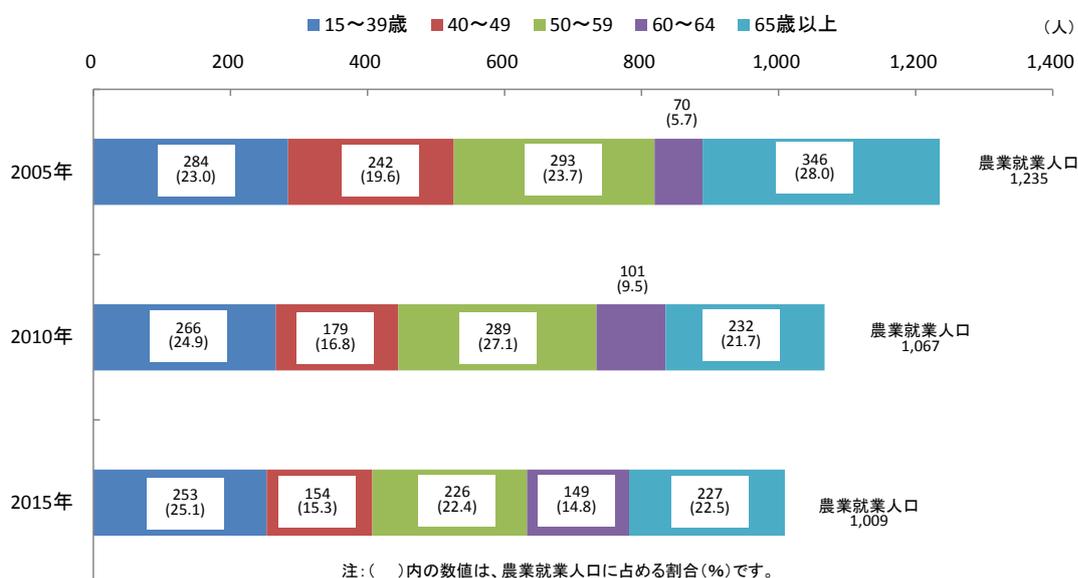


(3) 農業就業人口 ～ 農業就業人口は対前年比で5.4%の減少 ～

農業就業人口は1,009人となり、前回に比べ58人（5.4%）減少しました。

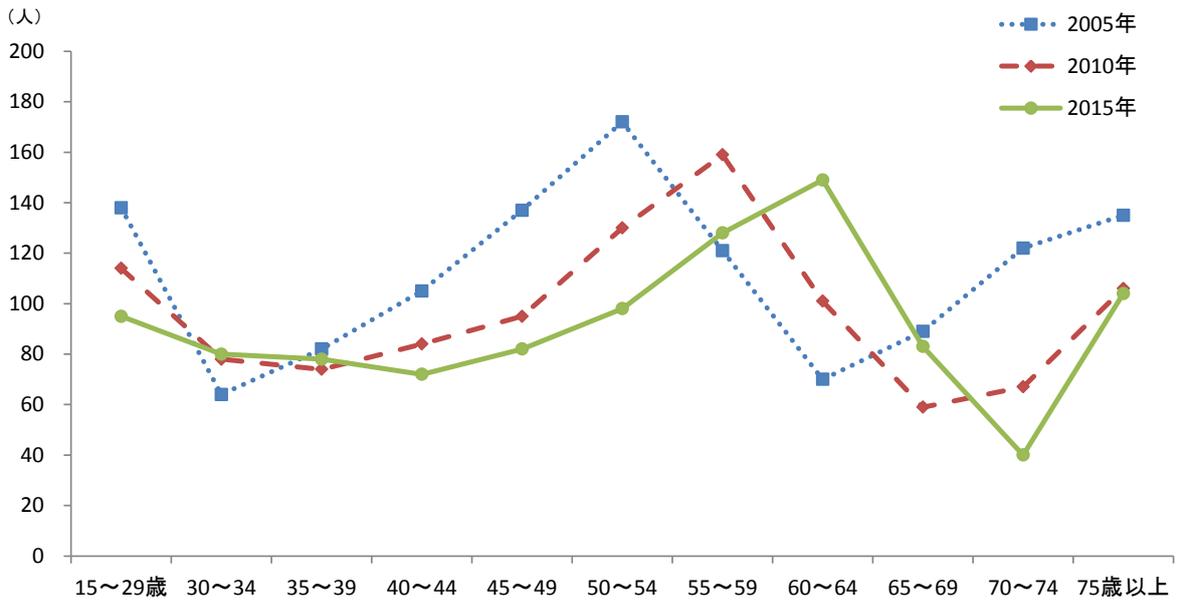
また、年齢階層別にみると15～39歳が253人（構成割合25.1%）と最も多く、次いで65歳以上の227人（同22.5%）、50～59歳の226人（同22.4%）の順となりました。

図8 年齢別農業就業人口の構成



年齢階層別に農業就業人口をみると、前回に比べ60～69歳で大きく増加しました。

図9 年齢別農業就業人口の推移



4 林業経営体

(1) 保有山林面積規模別経営体数 ～ 林業経営体数は対前回比で約2割増加 ～

林業経営体数は49経営体で、前回と比べると19.5%増加しました。

林業経営体を保有山林面積規模別の構成割合で見ると、10ha未満層は15経営体(構成比30.6%)、10～20ha層は21経営体(同42.9%)、20ha以上層は13経営体(同26.5%)となりました。

図10 保有山林面積規模別林業経営体数の構成

